

2012年12月11日 (火)

フジサンケイビジネスアイ

## 中小企業ホットライン -

異業種連携により新商品・新サービ スを生み出す「新連携」、地域資源を 活用する「地域資源活用」、農林漁業 者と商工業者が連携する「農商工連 携」。これら3つの事業では、現在ま でに合わせて約2300社が国から事業計 画の認定を受けている。中小機構はこ れら事業計画の作成から事業化までを 一貫して支援しており、特に、首都圏 での販路開拓事業を「NIPPON MO NO ICHI (ニッポン・モノ・イ チ) 」という名称で展開している。

「NIPPON MONO ICHI」は、



手に届けるためのプロジェクト。消費 者 (使い手) に商品を届けるためのプ ロセス全体を支援するため、商品評価

## 首都圏での販路開拓プロジェクト

展、店舗での販売会など、幅広く実施 の出展を支援した=写真。来年1月下 している。首都圏の大手スーパーや百 貨店、卸業者などを地域活性化パート ナーとして登録し、連携して実施して いるのが特徴。マーケットの意見に触 れる機会を増やし、商品開発からテス トマーケティング、事業化に至るまで のより効果的なハンズオン支援に結び 付けることを目的としている。

展示会関係では、11月に東京・有明 の東京ビッグサイトで開かれた「オー ガニックEXPO」に「NIPPON MO 作り手が"もの"に込めた物語を使い やセミナー・相談会、展示会への出 NO ICHI」のコーナーを設け、8社

旬の「JFW-IFF(インターナショ ナル・ファッション・フェア) | でも 約20社の出展を支援することを決めて いる。

詳しくはホームページ (http:// www.smrj.go.jp/keiei/chikipg/ nipponmonoichi, html) To

また、「新連携」「地域資源活用」 「農商工連携」については中小機構各 地域本部まで。

(独立行政法人中小企業基盤整備機構)